大阪ごみを考える通信

NPO 法人 大阪ごみを考える会
http://osaka-gomi.sakura.ne.jp/
【連絡先】吹田市江坂町 4-23-7-309 水川方
TEL／FAX （０６）６３３８－３９０８
【郵便口座】００９６０－９－２５１４３１

２０２１年度 ＮＯ．２　２０２１.７.３１

目　　次

１. 通常総会報告

昨年に引き続き。今年度も総会は書面評決で行われ、6 月 12 日に評決集計の結果、すべての議題が承認可決された。現在、大阪府のコロナ感染者は東京に次いで 2 番目に多くなっているという。早く収束できることを望む。

２. 吹田市は溶融スラグ 100%再利用の目標を達成できたのか？　（その 2）

吹田市第 3 次一般廃棄物処理基本計画（素案）によると、令和 10 年度目標として市民１人１日当たりのごみ排出量 760ｇ、リサイクル率 25.6%を掲げている。溶融スラグ化はリサイクル率を上げる有効な手段だそうだ。前号（2021 年度 NO. 1）に続き、溶融スラグについてお伝えする。

３. なぜ、道案内がないの？

あちこちの自治体で清掃工場への道を示す道路標識が見当たらないらしい。個人でも持ち込みごみを搬入するのに、これでは困る。かつては臭気や煙突からの有害物質が出されていて、世間に知られたくない施設だったかも知れないが、今はクリーンな施設に生まれ変わっている。もっと胸を張ってほしいものだ。

４. 奈良県平群町山中での太陽光発電計画に県が中止命令！

各地で大雨による土砂災害の被害が相次いでいる。山林の開発許可は特に注意されるべきだ。東京の業者による奈良県の山林開発を中止に至らしめたのは、住民の力だった。

５. 加藤さんのコラム

加藤さんは果敢に加齢に抵抗しておられます。今は階段の上り下りによる筋肉づくりに励んでおられます。筋肉は裏切らないと言います。しかし、頑張りすぎはかえって身体に悪いのです。ちょうどよい加減が難しいところです。

第 22 回通常総会の概要報告

第 22 回通常総会は新型コロナウィルス感染拡大予防の観点から、書面評決により開催され、6 月 12 日（土）に吹田市春日の manmaru データサービス事務所において表決書集計の結果、下記事項が承認可決されましたので、その概要を報告します。

記

1. 令和 2 年度事業報告

実施された主な事業は次の通り

① 情報提供事業は、年 6 回の会報発行（令和 2 年度 NO.1～NO.6）とホームページ運営を行った。

② 他団体との協働事業として「大阪ごみ減量推進会議」に参加した。「大阪ごみ減量推進会議」はコロナ禍の影響を受け、活動がなかった。

③ 市民派議員との「ごみ問題学習会」事業（2007 年 7 月～）は ZOOM を活用して今年度も開催され、ごみ問題とは直接関係しない諸問題への解決方法を探す取り組みを強化した。
西宮市と芦屋市は合同でごみ焼却施設を建設する計画を持っていたが、両市の協議が整わず沙汰止みとなった。

④ 大阪府の魚アラは岸和田市にある小島養殖で魚粉になっているが、「有価物」として収集する業者が抜けたため、搬入量は 40 t /月から 25t/月と半減し、小島養殖の経営は苦しくなった。2 月、小島養殖は突然 3 月末で事業を休止すると大阪府や収集業者に通知したが、3 月末になり他事業者に運転委託し、事業を継続すると通知した。約 1 か月、関係者は振り回されることになり、その“シワ”は全て収集業者が被ることになった。この状態は看過できないので、当会は来年度、府内の市町村に廃棄物か有価物かを決める総合判断説の見直しを提言したいと思っている。

2. 令和 2 年度収支報告　　（単位：円）

【収入の部】

前期繰越		1,138,741
当期収入	会費	172,500
	寄付	0
	事業収入	0
	計	172,500
合計		1,311,241

【支出の部】

当期支出	事業費	156,752
	管理費	163,693
	計	320,445
次期繰越		990,796
合計		1,311,241

3. 令和 3 年度事業計画

主な事業計画は次の通り

① 情報提供事業
年 6 回の会報発行については、必ずしもごみ問題とは直接関連しない会員の社会活動も紹介する方針を強化し、会員に原稿を依頼する。また、ホームページ及びフェイスブックによる情報

発信を行う。

② 市民派議員を中心とした「ごみ問題学習会」を今年度も 2 か月に 1 回のペースで行い、参加各市議の行政が抱える諸課題の改善に取り組む。コロナ対応策として ZOOM を活用したテレワークを継続する。

③ 大阪市環境局との協同事業の一つである「大阪ごみ減量推進会議」は 25 年開催予定の万国博覧会会場から排出される事業系一廃の適正な処理のあり方を考える学習会を中心に事業を行うことになった。

④ 国は海洋プラ問題に対応すべく法律を今国会で審議中であるが、事業者にストローの使用を止めさせる等の象徴的な取り組みを促す取り組みしかできないでいる。当会は廃プラのリサイクルはペットボトルやトレイ等の単一素材製品に留め、圧倒的に多い複合素材製品は　焼却して発電に使い、利益を太陽光発電事業、バイオマス発電事業等への助成金や補助金に充てる政策の実現に向けて、調査活動をすることにする。

⑤ 魚アラリサイクル問題については、有価物化の流れが強まると、有価物にできるほどの量が排出されない少量排出者への回収ができなくなり、リサイクルに反する焼却処理されることにならざるを得ない。当会は時代に逆行するこの流れを阻止するため、廃棄物処理法にいう「総合判断説」を見直し、収集業者が苦境に立たないで済むよう、府下の市町村に働きかける。

4. **令和 3 年度収支予算**　（単位：円）

【収入の部】		【支出の部】	
前期繰越	990,796	当期支出	
当期収入		事業費	150,000
会費	140,000	管理費	140,100
寄付	10,000	予備費	10,000
計	150,000	計	300,100
		次期繰越	840,696
合計	1,140,796	合計	1,140,796

以上

＜文責：水川＞

東京 2020 オリンピック・パラリンピックのメダルは リサイクル素材

金・銀・銅のメダルは「みんなのメダルプロジェクト」が大会で使われる約 5000 個をすべて、全国から集めた携帯電話や小型家電からのリサイクル素材から作ったと話題を集めています。

金 32 kg、銀 3,500 kg、銅 2,200 kgを確保したそうです。

金メダル

吹田市は溶融スラグ100%利用の目標を達成できたのか？（その2）

前回、吹田市資源循環エネルギーセンター（エネセン）を取材して、溶融スラグ生成の現状等をお伝えしましたが、今回は経費その他について、白田所長にお話を伺いました。

溶融スラグ生成に関する経費を教えてください

令和元年度（2019 年度）の溶融設備運転日数は 138 日でした。この年の溶融設備関係経費は、溶融設備機械関係が約 2 億円、溶融設備薬品消耗品が約 2,700 万円、溶融設備残灰処理として約 1,970 万円（溶融スラグフェニックス埋立処分料 10,100 円（税別）×1,517ｔ＋フェニックス搬送料金 1,820 円（税別）×1,517ｔ）。溶融飛灰処理として約 1,650 万円（飛灰固化物フェニックス埋立処分料 10,100 円（税別）×1,270ｔ＋1,820 円（税別）×1,270ｔ）、溶融飛灰搬送（山元還元）処理業務に約 2,700 万円（49,000 円（税別）×499.51ｔ）、それと電気代約 4,700 万円（全量逆送電とした場合、電気量約 3434kwh）を加えます。歳出総合計は約 3 億 5 千万円になります。

再生資源等売却料金の溶融分は、溶融メタル 42ｔ＝約 480 万円、傾動メタル約 170 万円、炉底メタル約 580 万円、溶融スラグ（100 円（税込み）×1,249ｔ）約 12 万 5 千円で歳入総合計は約 1 千 3 百万円になります。

令和元年度（2019 年度）は運転日数が少ない年でしたが、平常時では経費はどのくらい違うのですか？

平成 29 年度は運転日数 295 日間で、歳出総合計で約 4,700 万円増となり、歳入合計は約 2,900 万円増となりました。なお年度により、修繕費用及び電気単価、再資源化単価が異なることから、一概に比較することはできないと考えます。また資源売却には毎回入札を行っています。

令和 2 年度（2020 年度）の溶融スラグ生成実績を教えてください

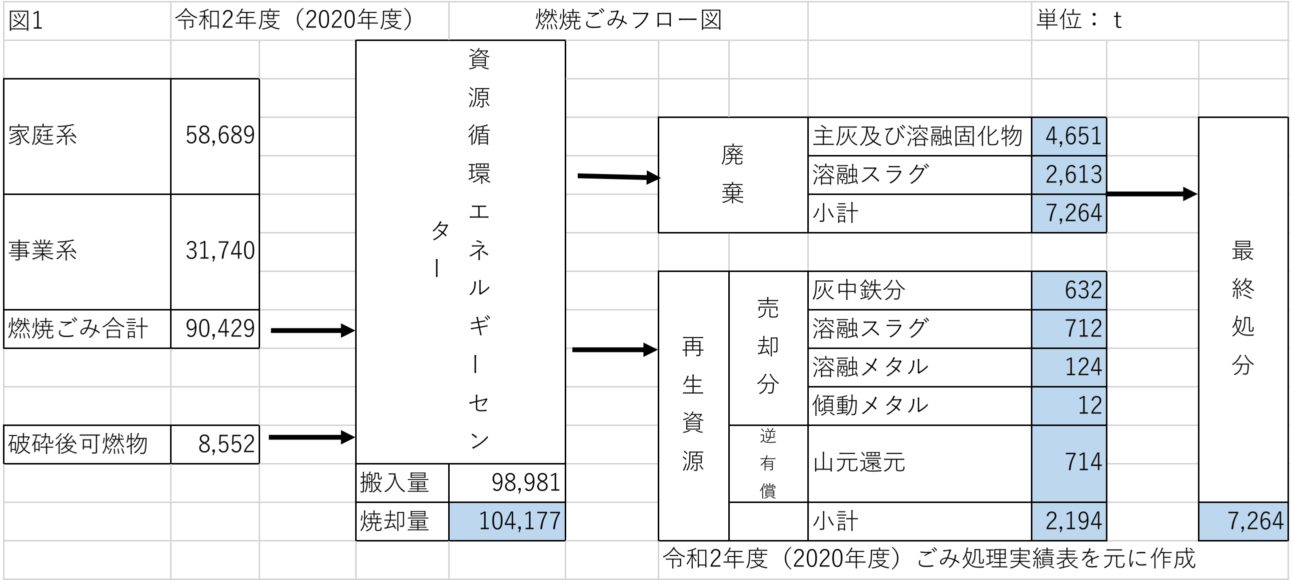


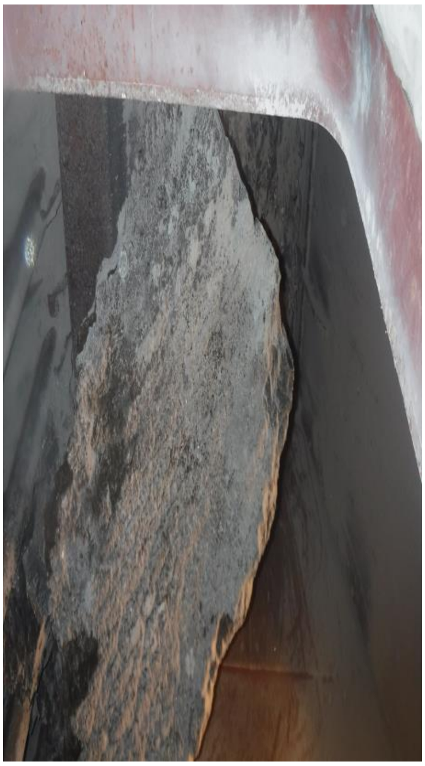
図 1 のようになります。

溶融不適物（鉄ガラ・大塊物）の量は 5,283ｔで、溶融炉に入る焼却灰（焼却主灰＋焼却飛灰）は 4,844ｔでした。主灰及び溶融固化物（4,651ｔ）の内訳は、主灰 4,000ｔ、溶融固化物（溶融飛灰を薬品処理）651ｔです。スラグ発生量は 3,325ｔですが、ストックヤード保管分を含めて、実際は 3,910ｔの生成量

となり、スラグ発生率は80.7%となります。スラグ量が少なくなっている理由は、排ガス設備のトラブルで灰処理量を上げることができなかったためです。

焼却灰から溶融不適物（鉄ガラ・大塊物）を除くということですが、どこで除くのですか？

焼却主灰排出装置と呼ばれるもので、焼却炉の下流側に位置し150㎜幅のスクリーンにて大塊物を選別し、磁選機で鉄分を回収し売却しています。スクリーンを通った物を適合物といい、溶融炉に投入します。スクリーンを通らなかった物は不適合物で大塊物といい埋め立て処分します。


大塊物
約150㎝もの大きさのものもある

溶融メタルの売却について教えてください

溶融メタルの売却については、半年に一度入札を行っています。

炉底メタルは１年に１回取り出していますが排出量が少ないため、２～３年程度溜まったら溶融メタルと同様に入札を実施し売るようにしています。竣工当時（平成22年）は金が多く含まれていて、約１億円/年の売却益がありました。現在の売却益は約2000万円/年です。（携帯電話等の電子機器部品も可燃ごみに多く入っていたが、その後資源回収が進んだためだと思われます。）

溶融スラグの保管と売却先について教えてください

エネセンのストックヤードの保管量は900ｔ。これ以上増えるとフェニックスで埋立処分せざるを得ません。溶融スラグ利用事業者にできる限りの必要量は保管してもらっていますが、保管には制限があります。何より、溶融スラグは焼却ごみが入ってくる以上、次々生成されます。

溶融スラグ売却先については、利用する事業者が少なく苦労しています。その理由として溶融スラグは砂の代用品としてコンクリートの骨材、路盤材の充填材などとして利用することができますが、大抵の事業者は海や山の周辺で採掘や船での輸送に便利な場所に多く点在しています。これは輸送費をできる限り抑えるためで資源循環エネルギーセンターから遠く離れていることが要因のひとつです。

エネセンの努力とリサイクル率の目標

ほかの自治体では、溶融スラグ売却先を見つけることができずに灰溶融を止めていく中で、エネセンではリサイクル率を高めるためにも、売却先を探す苦労を厭わず、熱心に取り組んでいます。

しかし、吹田市民としては、リサイクル率を高める手段を高額な費用がかかる灰溶融に頼るのではなく、市民一人一人がもっとごみ減量や3Rに取り組むことが必要だと思います。

吹田市第３次一般廃棄物処理基本計画（素案）では、令和10年度目標として市民１人１日当たりのごみ排出量760ｇ、リサイクル率25.6%を掲げていますが、市民サイドでできるごみ減量の仕組みを考えていかなければならないと思います。

（記　水川　晶子）

なぜ道案内がないの？

ごみを処理場まで自己搬入しようとして道を間違えたことはありませんか。他の公共施設に比べ清掃工場への道路案内が少なくて不親切なように思いませんか。仕事の都合上あちこちの清掃工場へ行くという当会会員の話でも府下の殆どの施設に道路案内標識が無いようなのです。

図１、国道から府道へ

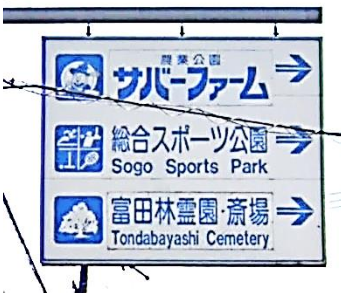


図２、府道から進入路へ

近くの清掃工場について調べてみました。図１及び図２の様に三施設の案内があるのですがこれらに隣接している清掃工場への案内は無いのです。府下の施設についても調べてみましたが割と不便なところに位置することが多いのに積極的に道案内されていません。なぜ案内標識がないのかいくつかの施設に問い合わせてみると、予算がない、施設の管理者が市ではない(一部事務組合)、利用者が少ない、マイナスイメージの施設だからあまり出したくない(地元への忖度)、などの理由があることが分りました。

国道府道の管理をしている府の土木事務所に訊くと案内標識を立てるには公共団体から申請書を出し許可をもらい立てることが出来る、占有料について公共施設は免除申請することが出来るとのことです。

図３、東大阪都市清掃施設組合

図４、岸和田クリーンセンター

案内標識例をいくつかを紹介します。泉北環境整備施設組合では標識はありませんが交差点名がクリーンセンター前となっています。図３は東大阪都市清掃組合水走工場の例で国道308号からの分岐にあります。図４は岸和田市貝塚市清掃施設組合クリーンセンターの例で手作り感のある立て看板が道路の植え込みに設置されています。図５は吹田市で施設更新時に資源循環エネルギーセンターに名称変更され、発電をイメージさせる名前になりましたが万博外周道路には施設名はなく資源リサイクルセンター（破砕選別工場とリサイクルプラザ）のみ設置されています。

図５、吹田市

図６、舞洲工場

図７、堺市クリーンセンター東

図６は舞洲工場で此花大橋を渡った所にあり、これは青色標識で道路管理者がランドマーク的なものとして設置しているようです。図７は堺市の北堺警察署の近くにあり、区役所も公園も保険センターも清掃工場も同列に扱われている理想的な案内標識だと思います。市民が道迷いしないよう案内標識の設置を考えてほしいものです。

ごみ処理施設は公的な施設であるにもかかわらず市民の目からは遠ざけられています。終末処理場ではなく名前は体を表すのとおり発電所としての存在価値が益々注目されるところなので街のエネルギー源として地元が胸を張れる施設に名称も意識も替えてほしいと思います。

（記　吉田　義晴）

奈良県平群町山中での太陽光発電計画に県が中止命令！

2019 年 11 月に奈良県知事は、東京の業者が申請した奈良県平群町の37haの山中に(甲子園球場 12 個分)、5, 3万枚の大規模な太陽光発電所建設計画を許可しました。この計画はゴルフ場を山中に作るのと似て、大雨の時の調整池さえ法的要件をクリヤーしていれば問題がないと思っていたからか、形式的な書類が整うと許可を出していました。

計画地近くの住民もよく知らぬまま業者が開いた住民説明会でOKをだしていたのです。ところが、山中から流れ出る小河川の流域に住む住民へは説明会をしていなかったので、心配になった住民有志が反対運動をおこし、県や町に提出された書類を調べると、調整池を小さくするために、下流へ流れる水量を多くなるようにごまかした計算をしていることを見つけたのです！

堤防が壊れるぐらいの流速！

勾配がきついとたくさん流れるので、流下能力を求める式は、場所ごとの勾配に比例するように作られています。業者は勾配を測定して正しい値を代入しなければならないのに、開発計画地から龍田川合流地点までの約3kmの延長に対して標高差が約200mしか無いにもかかわらず約540mの勾配としていたのです。しかも3km間の勾配がすべて同じで、流速が20～30m／秒になると計算しているのです。時速 72～108kmの濁流が流れてきたら堤防が壊れるのは必至です。

こんなごまかしの計算をしているのに、県の担当者は見逃していることを土木に詳しい住民が仕事の経験を活かして見つけたのです。

町と県の担当者に知らせる

住民たちは、弁護士さんや河川工学等々の専門家にチェックしてもらい、先ず町に知らせました。“県の仕事だから・・”と言えなくなった町は、町長名で県に再検討を求める要望書を出しました！県の担当者にも計算のごまかしを知らせたのですが、見逃した責任を容易に認めようとせずのらりくらりとかわされてしまいました。

ところが一ヶ月半経った6月22日の県議会で、知事は工事を中止させると発言したのです。正式な文は、課長名で「工事等の中止について(通知)」としており、以下の二点を「通知」しています。

1. 奈良県が申請内容について森林法及び宅地造成等規制法に規定する基準に適合すると認めるまで、工事は中止すること。
2. 工事の再開に関しては、先行して防災調整池の工事を終えたことを奈良県が確認するまでは、全体の造成工事に着手しないこと。

本来は事前協議の段階で、ごまかしを見つけ是正をさせるべきであるのに、全く謝らず業者は億円程度の損害を負うことになったのです。

（記　森住　明弘）

加藤さんのコラム

74歳。階段登り事始め

加藤　昌彦

「3時間 待って病名 『加齢』です」。同年代の方の作った川柳です。今年、私は後期高齢者となります。現在、加齢に果敢に抵抗しています。

私は1昨年の末から、自分が住んでいる公団住宅(14階)で階段登りを始めました。体のために、何か運動をしなければと思って・・、思うだけでした。同年の友達に、「加藤君、(そのためには)お金をかけないと」と言われました。しかし、私は散髪代をけちって、退職前から自分で髪を切っているような御仁なので、“もったいない“気持ちが強いのです。

1昨年末、高知県の物部へアイヌ語地名調査に行きました。古社で有名な小松神社に行くために、山道から300段という階段を下りて行きました。それがヒントになったのか、大阪へ帰ってから、階段登りを始めました。スタートは250段。8階の昇り降りです。

運動をどのくらいするかは、ものすごく重大だと思います。20年も前に、高年者差別を授業でするのに、腕立て伏せを学生と競合して勝ちたいと思ったことがありました（笑)。それで毎日毎日、練習を始めました。今日は1回、明日は2回、明後日は3回と伸ばしていきました。70回ぐらいで肩が痛くなりましたが、それを押してやり続け、とうとう筋肉を断裂してしまい、1年ほど休養したことがあります。治ってから、また挑戦し、また断裂となりました。適当量を探しあてるのはむつかしいです。

階段登りも無理をすると、腹筋や背筋に痛みがはしり、できなくなります。実際、痛くなりました。低い負荷に下げて筋肉作りをしました。私のような元運動選手はどうしても、頑張って無理なことをします。1年たつと、600段となり、現在は2500段を越えました。しかし、現在は夏場でもあり、かなり下げて登っています。

この階段登りで、私は大きな収穫をもらいました。体重を 5 ㌔ほど戻すことができましたし、自転車のサドルに尾てい骨が当たり、痛かったのがなくなりました。お尻に筋肉がついたためです。前は道でつまずくことが多かったのですが、それがなくなりました。昨年の私は貧血で、フラついても脚の筋肉で支えることができるようになりました。体の自信が出来たような気がします。

高年となっていても、筋肉は鍛えれば増強することが、体感で分かりました。老若関係なしに運動をしないと、筋肉は日毎に衰えていく、のではないかと思うようになりました。

私の周辺で脊柱管狭窄症になった人が多いです。長時間、机の前に座って仕事をするので、背筋、腹筋が弱いと背骨に重力がかかっていきます。

横になっても座ってもどうしても痛かった、という友達がいました。その友達は長時間、通勤で自動車を運転しなければならない人でした。

私のかつての職場でいつもニコニコと掃除をされる方がいたので、「いつもニコニコされていますね」と質問すると、『私の前の仕事はタクシーの運転手で、腰が痛くてたまらなかった。ここで掃除をするようになって、腰痛が治った。お金をもらって腰痛が治るなんて、嬉しくてたまらない』という返事でした。

現在、私は目が相当に悪化しているので、次になんとか治したいと思っています。かつて老眼を治したことがあるので（！？)、柳の下のどじょうを狙っています。誰かお知恵ください。